

一般選抜入試(前期日程) 日本史(1月30日)

日本史

解答範囲は、解答番号 から までです。

I 次の文章を読み、後の問い(問1～問12)に答えなさい。

光仁天皇の時代には、律令政治と財政の再建がはかられた。また、蝦夷と呼ばれた人びとへの支配を強化するために、東北地方に軍が派遣された。781年に即位した桓武天皇は、父光仁天皇の政策を受け継ぎながら、784年に長岡京へ遷都した。そうしたなか、都の造営を主導していた が暗殺される事件がおり、事件への関与を疑われた皇太子の が地位を追われた。その後、桓武天皇は794年に平安京へ遷都し、新京の造営とともに、東北地方における支配領域の拡大を進めた。

桓武天皇は、東アジアにおける対外的な緊張が薄れたことを受けて、東北や九州などの地域を除いて軍団を廃止し、健児を採用した。また、地方の財政を引き締めるために、令外官である を設置し、 が交代する際の事務手続きを厳重に監査させた。さらに、従来の土地制度にもとづく班田収授の継続を目指し、農民の負担の軽減をはかった。

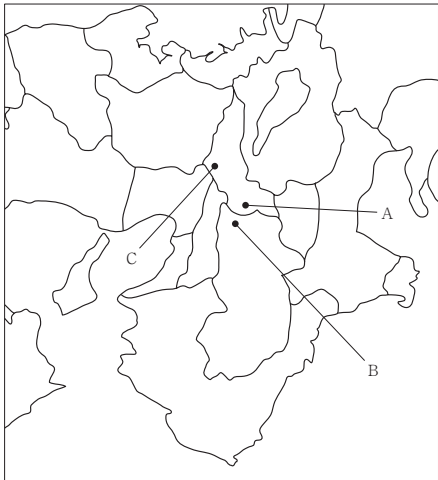
以上のような政治の再編にともない、平安時代初期には法制の整備が進められた。嵯峨天皇の時代には、律令制定後に出された法令を整理・編集して、弘仁格式が編纂された。さらに833年には、清原夏野らによって『令義解』が編まれた。

この頃、天皇や平安京の貴族を中心に唐風の文化が広まった。教養として漢文学が隆盛し、勅撰の漢詩文集のほか、さまざまな著作物が編纂・執筆された。こうしたなか、有力貴族は一族子弟の教育のために、氏ごとに大学別曹を設けた。

また、9世紀には、最澄と空海が入唐して仏教を学んだ。帰国後、最澄は弟子の養成につとめ、 の戒壇とは異なる独自の戒壇の設立を目指した。空海は高野山に道場を開創したのち、嵯峨天皇から平安京の を与えられた。最澄と空海がそれぞれ開いた天台宗と真言宗は、しだいに皇族や貴族に受容されていった。

問1 下線部③に関連して、8世紀の宮都の位置を示す地図上の記号(A～C)と、その名称の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号



- ①

A = 長岡京

B = 平城京

C = 平安京
- ②

A = 長岡京

B = 藤原京

C = 紫香楽宮
- ③

A = 長岡京

B = 紫香楽宮

C = 平安京
- ④

A = 恭仁京

B = 平城京

C = 長岡京
- ⑤

A = 恭仁京

B = 藤原京

C = 紫香楽宮
- ⑥

A = 恭仁京

B = 紫香楽宮

C = 長岡京

問2 空欄 ・ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ①

A = 藤原種継

I = 早良親王
- ②

A = 藤原種継

I = 刑部親王
- ③

A = 藤原広嗣

I = 早良親王
- ④

A = 藤原広嗣

I = 刑部親王
- ⑤

A = 藤原緒嗣

I = 早良親王
- ⑥

A = 藤原緒嗣

I = 刑部親王

問3 下線部⑤に関して、光仁・桓武天皇の時代(770～806年)におきた出来事(a～d)を、年代順に古いものから並べるとどうなりますか。適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- a

胆沢城が築かれた。
- b

坂上田村麻呂が征夷大將軍となった。
- c

志波城が築かれた。
- d

伊治磐麻呂が多賀城をおそった。
- ①

a→b→c→d
- ②

b→c→d→a
- ③

b→a→d→c
- ④

c→a→d→b
- ⑤

d→b→a→c
- ⑥

d→c→b→a

問4 下線部⑥に関する次の史料を読み、空欄 ～ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

ききに、右大臣の宣を被るに僻く、勅を奉るに、今諸国の 、辺要の地を除くの外、皆停廃に従へ。眞の兵庫・鈴藏及び 等の類は、宜しく健児を差して以て守衛に充つべし。宜しく の子弟を簡び差して、番を作りて守らしむべし。

- ①

A = 兵士

B = 国府

C = 郡司
- ②

A = 兵士

B = 屯倉

C = 郷司
- ③

A = 衛士

B = 国府

C = 郡司
- ④

A = 衛士

B = 屯倉

C = 郷司
- ⑤

A = 防人

B = 国府

C = 郷司
- ⑥

A = 防人

B = 屯倉

C = 郡司

問5 空欄 ・ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ①

ウ = 檢非違使

エ = 国司
- ②

ウ = 檢非違使

エ = 在庁官人
- ③

ウ = 勘解由使

エ = 国司
- ④

ウ = 勘解由使

エ = 在庁官人
- ⑤

ウ = 押領使

エ = 国司
- ⑥

ウ = 押領使

エ = 在庁官人

問6 下線部④に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X

公出挙の利率を下げ、運脚の日数を半分に減らした。
- Y

東北での戦いと平安京の造営を停止した。
- ①

X = 正

Y = 正
- ②

X = 正

Y = 誤
- ③

X = 誤

Y = 正
- ④

X = 誤

Y = 誤

問7 下線部⑥に関して、嵯峨天皇の在位中(809～23年)におきた出来事として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ①

藏人頭が設けられた。
- ②

南九州に大隅国がおかれた。
- ③

藤原仲成が処刑された。
- ④

平城太上天皇が平城京への再遷都を命じた。

一般選抜入試(前期日程) 日本史(1月30日)

問8 下線部④に関連する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 格は律令の施行細則であり、式は律令の補足・修正法である。

② 弘仁格式に載せられた格は、のちに『類聚三代格』に収録された。

③ 弘仁格式が編纂されたことにより、令の解釈が公式に統一された。

④ 弘仁格式について、清和天皇の時代に延喜格式が編纂された。

問9 下線部⑧に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

X 唐風の書がさかんになり、その名手とされた橘逸勢によって『離洛帖』が作成された。

Y 藤原百川は、宮廷の儀式に導入された唐風の儀礼を『北山抄』に記した。

① X = 正 Y = 正 ② X = 正 Y = 誤

③ X = 誤 Y = 正 ④ X = 誤 Y = 誤

問10 下線部⑤に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 藤原冬嗣は、日本初の勅撰の漢詩文集である『経国集』を編纂した。

② 円珍は、漢詩文の評論をまとめて『文鏡秘府論』を編んだ。

③ 菅野真道は、儒教の解説書として『菅家文草』を著した。

④ 景戒は、仏教説話集である『日本霊異記』を編んだ。

問11 下線部①に関して、有力貴族の氏の名称と、その氏が設けた大学別曹との組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 和気氏－学館院 ② 藤原氏－学館院 ③ 橘氏－学館院

④ 和気氏－奨学院 ⑤ 藤原氏－奨学院 ⑥ 橘氏－奨学院

問12 空欄 ・ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① オ＝唐招提寺 カ＝綜芸種智院

② オ＝唐招提寺 カ＝教王護国寺（東寺）

③ オ＝四天王寺 カ＝綜芸種智院

④ オ＝四天王寺 カ＝教王護国寺（東寺）

⑤ オ＝東大寺 カ＝綜芸種智院

⑥ オ＝東大寺 カ＝教王護国寺（東寺）

Ⅱ 次の文章を読み、後の問い（問1～問12）に答えなさい。

18世紀に入ると、飢饉や財政難により、幕藩体制はゆらぎはじめた。将軍職を継いだ徳川吉宗は、積極的な財政改革に取り組み、幕府財政を一時的に回復させた。また、飢饉に備え、 を登用して の普及を実現させた。しかし、農民の不満が、負担の増加や米価の急騰によって高まり、打ちこわしなどが各地で頻発した。吉宗のあと、 徳川家重を経て将軍職が徳川家治に引き継がれると、再び行き詰まりを見せはじめた幕府財政を立てなおすべく、 田沼意次を中心にさまざまな施策が講じられた。さらに、それを支えるために 長崎貿易の方針が転換された。だが、役人の腐敗や、浅間山の噴火に端を発した大飢饉、物価の高騰などが深刻な社会不安をまねき、家治の死去とともに田沼時代も終焉を迎えた。

このような幕藩体制の動揺や変革は、社会のあり方に影響を与え、人びとの価値観に変化をもたらした。そうしたなかで、 石田梅岩が石門心学をおこし、 安藤昌益が『自然真営道』を著すなど、既存の秩序を問い直す思想が生み出され、広まっていた。 さらにこの頃、吉宗の実学奨励策を受けて洋学（蘭学）が発達する一方で、 国学も大きく発展した。

こうした学問の進展にともない、全国の藩では、藩士や子弟を教育するために、藩校（藩学）の設立が進められた。他方、民間においても私塾や寺子屋が各地で開かれ、 懷徳堂からは富永仲基や山片蟠桃といった町人学者が輩出された。 以上のような思想や学問の多様化は、 文学や美術をはじめとする文化の発展に寄与した。それらは、 寛政の改革で一時的に停滞したものの、19世紀に入ると活気を取り戻し、農村部を含む広い民衆層にも影響を与え、民衆文化として成熟していった。

問1 空欄 ・ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① ア＝野呂元丈 イ＝甘蔗（サトウキビ）

② ア＝野呂元丈 イ＝甘蔗（サツマイモ）

③ ア＝青木昆陽 イ＝甘蔗（サトウキビ）

④ ア＝青木昆陽 イ＝甘蔗（サツマイモ）

⑤ ア＝貝原益軒 イ＝甘蔗（サトウキビ）

⑥ ア＝貝原益軒 イ＝甘蔗（サツマイモ）

問2 下線部④に関連して、徳川家重が将軍職をつとめた時期には宝暦事件が起こりました。この事件に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 山県大武が『柳子新論』で幕政を批判したとみなされ、処罰された。

② 竹内式部が京都で公家たちに尊王論を説き、追放刑となった。

③ 尊王論をとこなえた高山彦九郎が、処罰された。

④ 藤田東湖が京都の尊王派公家と連携したことで、弾圧を受けた。

問3 下線部⑤に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 印旛沼・手賀沼の干拓に着手した。

② 南鐔二朱銀などの計数銀貨を铸造した。

③ 鉄や真鍮の流通を自由化した。

④ 商工業者に株仲間間の結成を奨励し、運上や冥加を徴収した。

一般選抜入試(前期日程)

日本史(1月30日)

問4 下線部㉔に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 外国船の来航を制限して、国内産業を保護した。
② 銅や俵物の輸出を奨励した。
③ ロシアとの交易を開始した。
④ 朝鮮通信使との交易を拡大するために、清国との貿易を制限した。

問5 下線部㉔に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

X 石田梅岩は、儒教・仏教・神道を折衷した日常道徳を説いた。
Y 石田梅岩は、商業を卑しいものとして批判した。

① X＝正 Y＝正 ② X＝正 Y＝誤
③ X＝誤 Y＝正 ④ X＝誤 Y＝誤

問6 下線部㉔に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 勤労と倹約を中心とする事業法である報徳仕法を説いた。
② 各藩が地域の特産品を独占的に生産・販売する専売制の導入を主張した。
③ すべての人びとが農業に従事する「万人直耕の自然世」を理想社会とした。
④ 道徳や相互扶助をもとに、荒廃した農村を復興すべく農政理論を主張した。

問7 下線部㉔に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

X 塙保己一が、幕府の援助を受けて和学講談所を設けた。
Y 荷田春満の門人である賀茂真淵が、『古事記伝』を著した。

① X＝正 Y＝正 ② X＝正 Y＝誤
③ X＝誤 Y＝正 ④ X＝誤 Y＝誤

問11 下線部㉔に関して、宝暦・天明期の絵画に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 東洲斎写楽は、浮世絵の美人画で人気を博した。
② 円山派の画家たちによって、南画が大成した。
③ 司馬江漢が、日本における銅版画を創始した。
④ 呉春は、狩野派の大和絵の画風をもとに、四条派を興した。

問12 下線部㉔に関して、寛政の改革で出された出版統制令で処罰された人物として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 上田秋成 ② 曲亭(滝沢)馬琴 ③ 大田南畝
④ 山東京伝 ⑤ 式亭三馬

問8 下線部㉔に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 読み・書き・そろばんなどの実用的な知識や技能が主に教えられた。
② 師匠(教師)には女性もいた。
③ 僧侶によってのみ運営された。
④ 『庭訓往来』などの往来物が、教科書として用いられた。

問9 下線部㉔に関連する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 懷徳堂は朱子学を基盤としつつも、特定の学派にこだわらない教育を行った。
② 富永仲基は『出定後語』で、仏教思想(経典)の形成過程を論じた。
③ 山片蟠桃は『夢の代』で、合理的な思索方法を用いて、有神論を体系化した。
④ 懷徳堂は大坂町人の出資によって設立された。

問10 下線部㉔に関して、宝暦・天明期の文学に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 政治や世相を風刺した狂歌がさかんによまれた。
② 江戸の遊里を舞台とした人情本が流行した。
③ 歴史や伝奇を題材とする長編小説である黄表紙が広まった。
④ 川柳が、与謝蕪村により文学の一分野として定着した。

Ⅲ 次の(1)・(2)の文章を読み、後の問い(問1～問16)に答えなさい。

(1) 1867年11月9日(慶応3年10月14日)に、15代將軍徳川慶喜により、大政奉還の^㉑上表が朝廷に提出されたことで、新しい政治体制が樹立されることになった。しかし同日、薩摩・長州両藩の討幕派は、いわゆる討幕の密勅を手に入れ、政局は混とんとしていた。1868年1月3日(慶応3年12月9日)、討幕派は薩摩藩などの武力によって御所を制圧し、王政復古の^㉒大号令を発した。慶喜は、当初、新政府との衝突を避けていたが、薩摩藩などによる江戸をはじめとする関東での擾乱に挑発され、挙兵し、鳥羽・伏見の戦いがはじまった。この戦いは、慶喜が江戸に逃れたことで4日で終結したが、^㉓新政府軍と旧幕府軍との内戦は約1年半続いた。そのようななか、新政府は国策の基本を示すため、1868年4月6日(慶応4年3月14日)に、^㉔五箇条の誓文を公布した。以下は、その一部である。

一	広ク会議ヲ興シ万機 ^{おこ}	ア	ニ決スヘシ
一	上 ^{しょう} 下 ^か 心ヲ一ニシテ盛 ^{さかん} ニ経綸 ^{けいりん} ヲ行フヘシ		
一	官武一途庶民ニ至ル迄 ^{かんぶいつと}	各 ^{まておのその} 其 ^{その} 志 ^{こころざし} ヲ遂 ^と ケ ^イ	ヲシテ倦マサラシメン事ヲ要ス
一	旧来ノ陋 ^{きゅうらい} 習 ^{あうしゅう} ヲ破リ天地ノ公道 ^{こうどう} ニ基クヘシ		
一	① 智識 ^{ちしき} ヲ世界ニ求メ大ニ ^{おおい}	ウ	ヲ振起スヘシ
一	②		(法令全書)

さらに、この誓文と同時に、いわゆる国威宣揚の宸翰が公布された。そこでは「親ヲ四方ヲ経営」することで善政をしくことが宣言された。また各国との安定的な国交を構築する必要性をとなえるなど、天皇が人びとに訴えかける体裁がとられ、新しい政治体制の権力の所在が鮮明にされた。他方で、新政府の権力基盤の構築が課題として露呈していた。

一般選抜入試(前期日程) 日本史(1月30日)

問1 下線部④の人物に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 水戸藩主徳川斉昭の弟である。
② 田安家を継いだ。
③ 坂下門外の変後の幕政改革(文久の改革)では、政事総裁職に任命された。
④ 13代将軍の後継問題が生じた際には、越前藩主松平慶永(春嶽)や薩摩藩主島津斉彬らによって後継に推された。

問2 下線部⑤に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X 薩摩藩主の父である島津久光の建白にもとづいておこなわれた。
Y 徳川家主導の新体制が構築されることを期待しておこなわれた。
① X = 正 Y = 正 ② X = 正 Y = 誤
③ X = 誤 Y = 正 ④ X = 誤 Y = 誤

問3 下線部③に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① ただちにすべての藩が解体され、中央集権的な体制に移行することになった。
② 摂政・関白が廃止されることになった。
③ 新たな将軍のもとに、総裁・議定・参与の三職が設置されることになった。
④ 議定・参与には、公家・武家のみならず、広く人材が登用されることになった。

問7 下線部①に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 太政官制の廃止を定めている。
② キリスト教を積極的に摂取することを定めている。
③ 神社・神道に対する支援・監督の停止を定めている。
④ 国際法などの国際的な規範を国策の基本として受容することを定めている。

問8 下線部⑧に関連する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 西洋の電信技術が導入され、電信線が1869年に東京・横浜間にはじめて架設された。
② 西洋諸国にならって太陽暦が採用され、明治5年12月3日を明治6年1月1日とし、元号の月日と西暦の月日をそろえた。
③ 西洋の版画の技法が取り入れられ、錦絵と呼ばれる多色刷りの版画が発明された。
④ 旧幕府の開成所と医学所を母体として東京大学が設置され、多くの外国人教師がまねかれた。

- (2) 五箇条の誓文公布ののち、政府はその権力の正統性を示すため、宗教政策に訴えかけるとともに、1868年6月11日(慶応4年閏4月21日)には政体書を公布し、政府機構の整備に着手した。しかし、政府の実権は ⑤ など、公家や一部の藩出身者によって握られ、そのため政府内部での対立や地方からの反発もあり、なかなか国内秩序の安定化には至らなかった。政府内部の対立は、民権運動へと展開し、これに対して政府は近代化を推進するとともに、統制の強化をはかることで対応した。① また、地方からの反発は、新制度に反対する一揆やいわゆる土族反乱へと展開し、これらに応じて政府は地方制度の整備を進めた。②

制度の整備は対外関係や領土の確定にも及んだ。① 1869年には開拓使が設置され、

問4 下線部④に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 旧幕府軍を朝敵として追討する東征軍(征東軍)が派遣された。
② 相楽総三を隊長とする赤報隊は旧幕府領での年貢半減を掲げ、農民の支持を得た。
③ 徳川慶喜の命を受けた榎本武揚と東征軍(征東軍)の西郷隆盛との交渉により、江戸城が無血開城された。
④ 東北諸藩は奥羽越列藩同盟を結成し、東征軍(征東軍)に抵抗した。

問5 下線部⑤に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X 公卿・諸侯・もろもろの官が、天皇に対して誓約する形式がとられた。
Y 昭和天皇による、いわゆる人間宣言(1946年1月)において引用された。
① X = 正 Y = 正 ② X = 正 Y = 誤
③ X = 誤 Y = 正 ④ X = 誤 Y = 誤

問6 空欄 ～ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① ア = 公 論 イ = 人 心 ウ = 皇 基
② ア = 公 論 イ = 人 心 ウ = 国 力
③ ア = 公 論 イ = 大御心 ウ = 国 力
④ ア = 世 論 イ = 大御心 ウ = 実 力
⑤ ア = 世 論 イ = 神 々 ウ = 実 力
⑥ ア = 世 論 イ = 神 々 ウ = 皇 基

蝦夷地は北海道と改称され、その開拓が推進された。近隣諸国とは条約の締結によって関係性や国境が再構築された。また、琉球王国が1872年に日本領に組み込まれ、さらに1879年には軍事的威圧を用いて沖縄県が設置された。こうして近代日本の対外関係が整備され、領土が確定されていった。

問9 下線部⑥に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X アメリカ合衆国憲法を参考に三権分立制が取り入れられたが、立法権と行政権との区別が明瞭ではなかった。
Y 高級官吏を互選で交代することを定めたが、結局、互選は一度しかおこなわれなかった。
① X = 正 Y = 正 ② X = 正 Y = 誤
③ X = 誤 Y = 正 ④ X = 誤 Y = 誤

問10 空欄 にあてはまる語句として、適切なものを次のなかから2つ選び、解答番号34の欄を使用して2つの番号をマークしなさい。

解答番号

- ① 三条実美 ② 木戸孝允 ③ 高杉晋作
④ 松平容保 ⑤ 西園寺公望

問11 下線部①に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 大久保利通と江藤新平、板垣退助の三者による会談が大阪でおこなわれた。
② 1875年4月に、国会開設の勅諭が出された。
③ 現在の最高裁判所に当たる元老院が設置された。
④ 議務律と新聞紙条例が制定され、言論統制が強化された。

問12 下線部①に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 高米価のもとで、過去の低米価も含めて平均・算出された地価を基準に地租を定めることに反発する大規模な一揆が発生した。

② 1874年には、下野・帰郷していた西郷隆盛が、佐賀で反乱をおこした。

③ 廃刀令が出され、秩禄処分が断行されると、攘夷主義を掲げる熊本の不平等士族の敬神党（神風連）が反乱をおこした。

④ 明治前期の農民による一揆や騒擾の件数は、西南戦争がおきた1877年がピークであった。

問13

解答番号

都合により不掲載

問14 下線部①に関連して、北海道に関する出来事（a～d）を、年代順に古いものから並べるとどうなりますか。適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

a 北海道庁の設置 b 北海道旧土人保護法の制定

c 屯田兵制度の制定 d 開拓使官有物払下げ事件

① a→b→c→d ② a→c→d→b ③ b→a→c→d

④ b→a→d→c ⑤ c→a→d→b ⑥ c→d→a→b

問15 下線部②に関連する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

① 1871年に日清修好条規が締結され、相互に開港し、領事裁判権を認めあうことになった。

② 1876年に日本は、帰属が明確ではなかった小笠原諸島の領有を各国に通告し、日本領であることが確定した。

③ 1854年の日露和親条約では、千島全島をロシア領としていた。

④ 1875年に樺太・千島交換条約が締結され、日本は樺太に関する権利をロシアにゆずり、そのかわりに千島全島を領有することになった。

問16 下線部③に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

X 琉球国王の尚泰は、初代沖縄県知事に任命された。

Y 沖縄県設置直後から、土地制度・租税制度・地方制度が本土と同様のものに改正された。

① X＝正 Y＝正 ② X＝正 Y＝誤

③ X＝誤 Y＝正 ④ X＝誤 Y＝誤